

氏名： 加藤 敬子 (KATO KEIKO)  
所属： リーダーシップ養成教育研究センター 文理融合 21 世紀リベラルアーツ  
職名： 講師  
学位： 教育学修士  
専門分野： 女性とメディア / Women and Media  
女子教育 / Women's education  
E-mail： kato.keiko@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

高等教育 / 生涯教育 / 女子教育 / 入学試験 / 女性とメディア  
higher education / life-long education / women's education / entrance examination /  
women and media

#### ◆主要業績

総数 (2) 件

- ・ 占領期社会教育と生活改善運動 研究大会にて発表
- ・ 占領期社会教育と新生活運動 研究大会にて発表

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

これからの多様化しグローバル化する社会においてのリーダーとなる女性の育成を目的にして、女子大学のあり方や教育について研究しています。特に、その入口となる大学入試について、従来の学力テストを中心とする一般選抜だけでは評価できなかったコミュニケーション能力、創造力、応用力、将来へのビジョンなどを評価する必要があると思われま。そして、様々な能力を持った人材を確保し、キャンパスの中で互いに刺激しあって、多様化する社会に対応していかなければならないと考えています。そのためには様々な入試形態が取り入れられるべきで、平成 19 年から実施された本学 AO 入試はその試験方法においても、文理双方の関心を持ち、国際的なコミュニケーション能力を持つ人材選抜として全国の中でも高く評価されると思われま。個性を尊重し様々な能力を見出す選抜方法を研究課題としていま

My study are the education of university and AO selection. A diversified and globalize society today requires not only solid expert knowledge but also communication capability to deliver it and execution capability to apply it .We aim at education for women leaders who own broad knowledge of liberal arts and high expert knowledge in all fields from Literature to Science and Life Science. I believe future women leaders must have a potential for both interdisciplinary and global scope of thinking, which cannot be found through conventional achievement tests. I think that university provides opportunity for career development base to any woman disregarding age and nationality who seeks career in diversified fields across period as an independent woman. This is why I study AO selection.

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

入学前教育 / ①A O合格者研修会の開催②興味あるテーマについてのレポート作成 - - - 添削・レポート論文の書き方指導③英語教育 - - - カセットを聴きドリルを行う。C D、英語本の貸し出しなど④大学教育への質問相談⑤センター入試受験  
社会教育特講 I /  
社会教育課題研究

remedial education  
social education

## ◆研究計画

これからの社会における女性リーダー育成のための人材確保と大学教育の多様性について調査研究していきたいと思っています。そのためには、入学後の追跡調査、卒業後の追跡調査、大学生の意識調査、大学生生活の満足度調査、高校生の意識調査など高校、大学、社会生活を対象とした長期的な視野で総合的に研究していかなければならないと考えています。また、高校生に大学選びのための情報をどのように伝達するのが効果的か、大学教育への期待を入試後・入学後も如何に持続させるか、高校生の学習要求をどのように把握し大学教育に結びつけるか、などについても具体的に研究していく予定です。そして、大学が個々人の生涯にわたっての学習や活動の基盤となり、さらに、世界の様々な研究の拠点となるための制度を構築していきたいと思っています。

## ◆メッセージ

お茶の水女子大学は、学習、就職、相談など様々な視点から女性をサポートしていくシステムが充実していると痛感しています。この恵まれた環境の中で、自己の才能を発見し開花させていってほしいと願っています。